

TOPICS

無機材料への蒔絵定着技術の開発

—耐洗浄性に優れた蒔絵定着技術—

繊維生活部 梶井紀孝 (かじいのりたか)

kajii@irii.jp

専門：漆工、工業デザイン

一言：新しい漆技術により新製品の開発を支援します。



県内の蒔絵工房からは、ガラス器や陶磁器などへ蒔絵を施し、華やかな絵柄を活かした新しい製品開発の相談が増えています。しかし、ガラスや陶器などの無機材料に細かい絵柄を漆のみで蒔絵を施す方法（従来技術）では、製品の使用や洗浄時に漆の剥離や蒔絵粉の欠落が課題となっています（図1A）。

そこで、工業試験場では漆の改質（図1B）や下塗剤の利用（図1C）でガラス上に蒔絵を施す技術を開発しました。耐洗浄性（食洗機での100回洗浄）について評価したところ、従来技術より格段に剥離が抑えられており、耐久性に優れた蒔絵定着技術であることが分かりました（図2）。

工業試験場では、今後も新しい漆器の新製品開発を支援していきますので、お気軽にご相談ください。

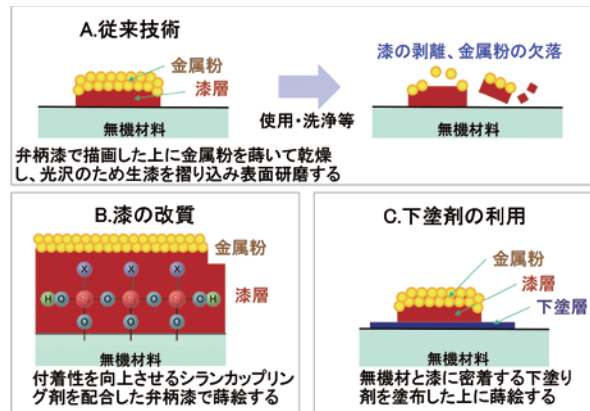


図1 蒔絵断面のイメージ

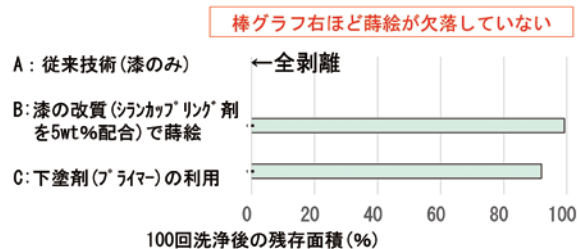


図2 耐洗浄性の結果